

大手町・丸の内・有楽町のまちづくり



2026/Autumn

On!

Vol. —
57

特集

わたしと大丸有。
若手の声から紡ぐ、まちのこれから

若手の声がひらく

大丸有のこれから

約5千以上の事業所が拠点を置き、約35万人が働く大手町・丸の内・有楽町（大丸有）エリアで、35歳以下（U35）を対象としたコミュニティ「URBAN CANVAS（アーバンキャンバス）」が今年度本格的に始動しました。2度のプレ体験会を経て、2026年6月からは、ポッドキャスト番組「URBAN CANVAS Radio『大丸有 U35働くにんげん図鑑』」の配信に加え、noteでのインタビュー記事やプログラム体験レポートの発信もスタートしています。今回は、『大丸有 U35働くにんげん図鑑』との連携企画として、大丸有エリアで働く3名の若手ワーカーをゲストに迎えた特別収録回の内容を、On! 誌面でご紹介します。



仕事の魅力は、まちの魅力につながっている

坂梨 今日はよろしくお願ひします。まずは簡単に自己紹介と、大丸有エリアとのつながりについて教えてくださいいただけますか？

阿部 ニッポン放送の阿部と申します。民放のラジオ局で営業企画を担当しており、スポンサーとタイアップしたラジオ番組の企画・運営を行うセクションに所属しています。オフィスは有楽町にあり、駅前で番組のイベントを実施するなど、有楽町を中心に働いています。
宮坂 丸の内熱供給の宮坂です。大丸有エリアのビルに冷暖房用の熱源を供給する会社で、営業部に所属しています。私たちの仕事は、まさに大丸有エリアを支える役割を担っていて、みなさんが快適に働ける環境づくりを下支えしているのかな、と思っています。

柴田 東京国際フォーラムの柴田です。東京国際フォーラムには、大小さまざまな劇場や展示会場があり、

「やってみたい」を実現する場にしていきます



大丸有まちづくり協議会事務局員
三菱地所株式会社まちづくり推進部副主事
坂梨 陽木さん

貸し館事業を行っています。私は広報業務として、これまで館されるお客様からのお問い合わせ対応やメディア対応、公式ホームページやSNSの運用を通じて、施設の魅力を発信しています。実は学生の頃から大丸有エリアが大好きで、よく遊びに来ていたのですが、ご縁があって有楽町で働くことになりました。仕事でもプライベートでも、大丸有エリアは私にとって、とても身近な存在です。

坂梨 みなさんに、今の会社を選んだ理由もお聞きたいです。

宮坂 働きやすい職場環境に惹かれたことが一番の理由ですが、もともとまちづくりに関わりたいという思いがあったので、結果的に自分のやりたかった仕事ができていると感じています。大丸有エリアは、整然としたまちなみをイメージされる方が多いと思うのですが、その地下には熱供給のための熱源プラントがあり、各ビルへ熱を送る地域配管が張り巡らされています。華やかな大丸有エリアの地下に、そうした巨大なインフラがあることを誇らしく思いますし、それが仕事の魅力になっていると思います。

坂梨 大丸有 U35 コミュニティ「URBAN CANVAS」でも、実は地下プラントの見学ツアーができたらと思っています。

宮坂 ぜひやりましょう。みなさんに見ていただけたらうれしいです。

坂梨 阿部さんは、ニッポン放送には途中で入社されたんですね。

阿部 はい。前職は通信系の会社に在籍していたのですが、一念発起して、もともと大好きだったエンタメ業

普段出会えない方々とフラットに話ができる場があります



株式会社ニッポン放送
コンテンツビジネス局 メディアプロデュース部
阿部 友音さん

界に飛び込みました。

坂梨 阿部さんはもともと幅広い分野に関心をお持ちの印象があるので、すぐくしくりきます。実際に働くなかで、どんなところにやりがいを感じていますか？

阿部 ニッポン放送主催のイベントには、ラジオ番組やポッドキャストを聴いてくださっているリスナーの方々がたくさん来場してくださり、大歓声のなかで楽しんでる様子を見る機会があります。そういう場面に立ち会えると、自分が関わった仕事がたくさんの人に届いているんだと実感できて、とてもやりがいを感じますね。

坂梨 確かに、ニッポン放送の皆さんとも実行委員会で一緒にいる有楽町駅東口広場社会実験「有楽町ブック・ウォーク」を開催した際も、パーソナリティのみなさんの人気が本場にすくなくて、ラジオの持つ力を強く感じました。そうやって反応を直接感じられるのは、すごくうれしい瞬間ですね。

「やってみたい」が動き出すコミュニティ

坂梨 「URBANCANVAS」は大丸有エリアで働く35歳以下の若手社会人を対象としているのですが、若い世代ならではの強みは何だと思いますか？

宮坂 コミュニティに限らず、自分の会社も含めて感じるのは、多様性を大切にしながら、好奇心や向上心を持っている人が多いということです。

阿部 いい意味で、どこか似た感覚を持った人たちが集まっているのが面白いと感じています。特にこのコミュニティには、大丸有エリアをもっと活用したい、盛り上げたいという前向きな姿勢の方が多く参加されていて、自分自身もすごく刺激を受けます。

柴田 確かに、学びや刺激は大いにありますね。コミュニティのメンバーとの雑談のなかで話していたことが、後日、取引先との会話のなかで偶然話題にのぼることもあって、どんなことが仕事につながるのかわからないものだなと実感しています。

まちを歩いても
見えるものが
少し変わりました



株式会社東京国際フォーラム 広報部
柴田 悠さん



と思っていたので、ぜひ一緒にやりたいです！

坂梨 いいですね。まさに、こういうふうにアイデアが湧いていくのがコミュニティの面白さだと思うんです。「こういうことをやってみたい」と誰かが口にした時に、それを聞いた別の誰かが思いがけず賛同して、一緒にプログラムを企画していく。自分ひとりの視点では生まれなかったものが形になるところに、コミュニティならではの魅力があると思っています。

阿部 これまで私にとって大丸有エリアは「働く場所」で、会社と家を往復するだけになりがちでしたが、これからはコミュニティを通じてアクティビティやプログ

坂梨 今は、自分の目や耳に入ってくる情報はアルゴリズムによって振り分けられていることが多く、興味の方向も偏りがちです。だからこそ、自分とはまったく異なる視点の話を聞いたり、仕事と直接関係のない話に触れたりして、引き出しを増やしていくことが大事なのではないかと思っています。

阿部 普段なかなか出会わない方々と、フラットに話ができる場があるのは本当にありがたいです。

坂梨 そう言っていただけとうれしいです。今後も月1〜2回のペースで、さまざまなプログラムを開催していく予定です。メンバーのみなさんが「やってみたい」と思うことを実現する場にもしていきたいのです。



ラムに積極的に参加していきたいです。

坂梨 ぜひコミュニティを“使い倒して”ください！

つながること、まちの景色が変わっていく

坂梨 お三方はプレ体験会から参加してくださいますが、実際にコミュニティの活動に参加されてみて、どのように感じていらっしゃいますか？

宮坂 “アイデアや意見に対して否定から入るのはNG”という「URBANCANVAS」のルールが素晴らしいと思っています。自分の言葉で発信できる環境づくりは、ぜひ会社内にも広めていきたいと思っています。

柴田 初めてプレ体験会に参加した時、頭に浮かんだのが「四十八茶百蔵（しじゅうはっちゃんやくねずみ）」という言葉でした。江戸時代の言葉で、同じ茶色や鼠色に見えても、実はその中にたくさんさんの繊細な違いがある、という意味です。大丸有エリアも、実際に働いている方々と話してみると、本当に個性豊かな方が多いんです。そういう人たちと出会ってからは、まちを歩いていても見えるものが少し変わって、活動の案内などを見かけると「これはどこが企画しているんだろう」と気になるようになりました。

坂梨 「URBANCANVAS」で大切にしたいことのひとつが、「まちのさまざまな活動の入口になる」ことです。大丸有エリアにはいろいろな取り組みがあるので、コミュニティを通じて、まちの活動とも連携していけたらと思っています。あわせて「まちで働くU35の声を発信する」ということも大事にしていきたいと考えています。阿部さんには初期段階からポッドキャストの制作についてご相談させていただいていました

否定から入らない
URBANCANVASのルールが
素晴らしいと思います



丸の内熱供給株式会社 開発営業部
宮坂 奈緒さん

が、皆さんも何かやってみたいことはありますか？

阿部 実は、皇居ランをやってみたいんです。ただ、会社が近いとはいえ、社内で着替えて汗だくのまま戻ってくるのには少し抵抗があったりもして、なかなか始められずにいます。趣味でよく皇居ランをされている宮坂さんは普段どうされているんですか？

宮坂 私の場合はランステーションを利用することが多いです。私も阿部さんと同じで、もつと気軽に走りに行けたらいいのに、とずっと思っていました。

阿部 大丸有の各ビルに簡易的なランステーションのようなものがあつたらいいですね。セキュリティ面など難しいこともあるかもしれませんが、このエリアのハード面をもっと活用できたらいいな、と思います。

坂梨 大丸有エリアには、まちづくり団体が所管している場所がいくつかありますし、コミュニティのメンバーで「何かやりたい」ということであれば、ご相談できる可能性もあります。阿部さん、宮坂さんが発起人となる皇居ラン会、ぜひ実現してほしいです。

宮坂 私も、前からランニングイベントをやってみたい

が、若手の声を発信する
取り組みをどう受け止
めていらっしゃるんですか？

阿部 若手の声が可
視化されるのは、とても
意味のあることだと思
っています。ポッドキャ
ストは、聴きたい人が自
分で選んでアクセスする
メディアなので、コミュニ
ティの活動や大丸有エリア

について、より深く知っていただく手段としても有効です。また、コミュニティの参加メンバーだけでなく、大丸有エリアで将来働きたいと希望されている方々にとっても、大丸有で働く若手のリアルな声を聞けるのは、企業の雰囲気を知るうえで非常に有益な機会になると思っています。

坂梨 今後も大丸有エリアで働くみなさんがつながる場をつくり、U35の声を多くの人に届けていきたいと思っています。そして、一人ひとりがこのまちを少しずつ身近に感じながら、URBANCANVASのビジョンでもある「大丸有も、自分のまちに。」と思えるきっかけをつくっていったらうれしいです。今日はみなさんからたくさん素敵な素敵なお話を伺えて、とても楽しかったです。ありがとうございました！



インタビューで紹介しきれなかった内容は
左記のPodcast配信よりお聞きいただけます

第3回プログラム テーマ:生成AIの活用事例と倫理的向き合い方

株式会社NTTデータTangity 逸見貴人(へんみ たかと)氏を講師に迎え、生成AIをめぐる最新動向から人間の認知の変容、倫理的な問いに至るまで、幅広いテーマについて議論が展開されました。正式な「コミュニティプログラム」として開催された今回は、大丸有エリアの企業12社から、新規参加者も含む総勢21名のメンバーが参加しました。AIとは何かという基礎的な整理に始まり、フードトラックの経営をAIに任せるシミュレーションも紹介され、参加者は熱心に



耳を傾けていました。
プログラムレポートは
noteへ



第4回プログラム テーマ:丸の内ハニー体験会



大丸有エリアで都市養蜂に取り組む「丸の内ハニープロジェクト」の体験会として、エコツツェリア協会の連携企画として開催。大丸有エリアの企業15社から、総勢31名が参加し、大手町ビルの屋上にある養蜂場と、隣接する「The Edible Park OTEMACHI」、「大手町SKY LAB」を見学しました。続いて「丸の内ハニープロジェクト」の全体像を説明いただき、「面白いと思った点」「やってみたい、参加してみたいこと」をテーマに、エコツツェリア協会のメンバーが加わるグループワークを実施。立食形式の懇親会では、季節ごとに色異なる丸の内ハニーを食べ比べし、同じまちで採れたものでも味わいが違うことを五感で体験しました。
プログラムレポートはnoteへ



まちの広報活動



Instagram

note記事やPodcast
配信のお知らせ・各種
プログラム告知など



note

プログラムの体験レポ
ートやU35メンバーの
インタビュー記事の発信

← QRコード(Podcast、Instagram、
note、申し込みフォーム)



PODCAST URBAN CANVAS RADIO 「大丸有U35 働くにんげん図鑑」

大丸有で働く35歳以下のワーカーにスポットライトを当てるPodcast番組。本番組では、毎回ゲストをお招きして、若手がどのような想いをもって働いているかに耳を傾け、その声を届ける番組を目指します。
配信時期:不定期(月に1~2回配信予定)

※「URBAN CANVAS」への参加をご希望の方は、申し込みフォームよりご連絡ください

大丸有も、自分のまちに

URBAN CANVAS

→ 大丸有U35コミュニティ ←

第1回プログラム / プレ体験会ワークショップ

テーマ:新規事業の作り方
-LEAN STARTUPを駆使したフレームワーク-

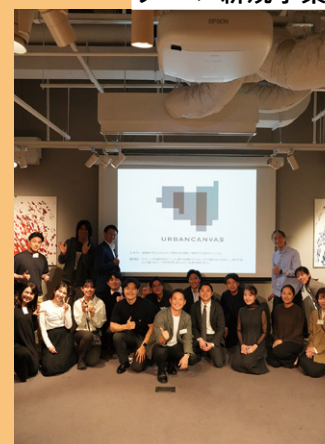


記念すべき第1回は、株式会社博報堂ソーシャルビジネス開発局 金学千(きむ はくちゅん)氏をファシリテーターとしてお招きし、「リーン・スタートアップ」という手法を活用した事業・サービス開発の進め方をテーマに講演が行われました。この日は、大丸有エリアの企業11社から、総勢20名のメンバーが参加。講演後はチームに分かれてワークショップを実施し、それぞれが身の回りで感じている困りごとをもとに、コミュニティを活用して挑戦したいことを話し合いました。プログラムレポートはnoteへ



第2回プログラム / プレ体験会ワークショップ

テーマ:新規事業の作り方 -チームでアクションプランを考える-



前回に引き続き、株式会社博報堂ソーシャルビジネス開発局 金学千(きむ はくちゅん)氏をファシリテーターに迎え、「チームで大丸有のアクションプランを考える」をテーマに開催されました。大丸有エリアの企業10社から参加した20名のメンバーが4つのチームに分かれ、各自の課題意識を持ち寄りながら、アイデアを拡散・収束させ、アクションプランへと落とし込んでいくプロセスに取り組みました。
プログラムレポートはnoteへ



WHAT'S

URBAN CANVAS

約5千社が拠点を構え、約35万人が働く、日本経済を牽引するビジネスの中心地・大丸有エリアに誕生した、若手社会人の交流・成長・発信を後押しするコミュニティです。「大丸有も、自分のまちに。」をビジョンに掲げ、職場(2nd Place)でもない、人々の「2.5th Place」として、まちのさまざまな活動の入り口となることを目指しています。エリアで展開されている既存の取組みと連携しながら、コミュニティ参加者へのインタビューを行うポッドキャスト番組「URBAN CANVAS Radio『大丸有U35働くにんげん図鑑』」の制作などを通じて、大丸有エリアで働くU35の声や活動を各種SNSで発信しています。



ロゴはコミュニティメンバーの
投票を通じて決定！

コンセプトは「未完成のキャンバス」。関わる人やプロジェクトによって、色や意味が更新され続けていくデザインです。大丸有のエリアが重なったロゴの形は、多様な価値観やバックグラウンドが交わることで、まだ見ぬ景色が生まれていく。そんなコミュニティのあり方を表現しています。



集う、つながる、動き出す



231 PLACE

気軽に立ち寄り、ゆるやかにつながれる、
ひらかれたコミュニティスペース

三菱商事株式会社の本社ビルにオープンした「231 PLACE」は、1階にカフェとフラワーショップ、2階に誰もが気軽に立ち寄れるパブリックスペースを備えた、開かれた空間です。「三菱商事が掲げる企業理念”三綱領”のもと、50年以上にわたり取り組んできた社会貢献活動への理解を深める、情報発信拠点としての役割も担っています。コンセプトは“Bloom Conscious — 訪れる人たちの意識が芽吹く空間”。1階の『imperfect MARUNOUCHI ROASTERY』では、コーヒーや軽食を楽しみながら社会課題に目を向けることができ、併設する『LORANS MARUNOUCHI』では、障がいや難病と向き合うスタッフが活躍し、花をより身近に感じられる場として親しまれています。2階の『231 GALLERY』では、三菱商事の社会貢献活動や関連するさまざまな取り組みをご紹介しているほか、アートギャラリーとしての一面も持っていて、社会福祉法人東京コロニーの“アートビリティ”に登録されているアーティストの作品等を定期的に紹介していく予定です。ここでの出会いや気づきが、“私もやってみたい” “一緒に取り組んでみたい”という思いを育み、新たな一歩へとつながっていくことを期待しています」



三菱商事株式会社
総務部 総合チーム
Aguru Kakudo 角銅 拳

大丸有の 交流拠点

大丸有エリアで働く若手ワーカーに、
新しいアイデアが生まれ、動き出す、
まちの新たなスポットを紹介してもらいました。

OPEN HUB Park

最先端技術をきっかけに人とアイデアが変わり、
新たなビジネスの種が育つ場所

「OPEN HUB Park」は、2022年2月22日に大手町プレイスウエストタワーに開設されました。最先端テクノロジーや情報発信スタジオを備えた開放的な空間では、イベントやワークショップなどを定期的に開催しており、NTTドコモビジネスのお客さまやパートナー企業を中心に活用されています。『OPEN HUB Park』は、社会やビジネスのアイデアをともに考え、事業共創を生み出すための舞台装置として誕生しました。DXやAI活用、新規事業創出など、一社だけでは答えを出しにくいテーマが増えるなか、多様な企業や人が出会い、問いを持ち寄り、対話を通じて次の一歩を見いだす場として運営しています。入り口の設計や什器、香り、お酒も飲める交流スペースなど、リアルな空間づくりにこだわるとともに、AIを活用したアプリケーションや、各拠点をリアルタイムにつなぐ『OPEN HUB Window』など、デジタルの仕掛けも取り入れています。ここには、完成された答えだけでなく、これからの社会やビジネスに必要な可能性や課題、そして人の思いが集まっています。単に技術やデモを体験するだけでなく、自らの可能性や問いを持ち込める場所として活用いただき、ここで生まれた出会いや対話を起点に、共創の輪をさらに広げていきたいと考えています」

NTTドコモビジネス株式会社 ビジネスソリューション本部
第三ビジネスソリューション営業本部
宮下 芹奈 Serina Miyashita



231 PLACE

〒100-8086 東京都千代田区丸の内2-3-1
三菱商事ビルディング1階・2階

imperfect MARUNOUCHI ROASTERY/231 GALLERY
月～金 7:00～19:00 / 土日祝 11:00～19:00 03-5222-6521
LORANS MARUNOUCHI
11:00～19:00 03-6434-0607



営業についてのお知らせ
イベント開催や季節休業などにより、営業日・営業時間が変更となる場合がございます。最新の営業情報は公式SNS等をご確認ください。



OPEN HUB Park

〒100-8019 東京都千代田区大手町2-3-1
大手町プレイスウエストタワー 29F



OPEN HUB Parkでのイベントやワークショップにご興味がある方は上記サイトをご参照ください。



2026
AUTUMN



CITY INFORMATION

大丸有地区の施設、イベント、取組など様々なまちのニュースをご紹介します。これまで知らなかったまちの魅力に触れられるチャンス！是非チェックしてみてください！

学生からビジネスパーソンまで社会課題と向き合い創造性を高め合う

丸の内プラチナ大学第11期

丸の内プラチナ大学は、ビジネスパーソンから学生まで幅広い世代を対象としたプログラムです。逆参勤交代・アートフルライフ・再生可能エネルギー入門など個性豊かなコースを揃え、座学・フィールドワークを通じて社会課題の解決力やアイデア創出を実践的に磨けます。今年度は新たに資源循環経済入門コースが加わり、プログラムが充実。受講生同士のつながりを大切にしながら、起業・地域貢献など多様な可能性を後押しします。

【開催日時】2026年8月21日(金)～2027年3月中旬

【開催場所】3×3 Lab Future等(コースによりフィールドワークも開催)

【主催】企画:未来共創イニシアティブ 企画:事務局:エコツヴェリア協会、

一般社団法人ソーシャルビジネス・ネットワーク、株式会社サンブラックス



掲載作品:鈴木康広《空気のうた》

東京初。都市を舞台にした文化芸術の祭典、誕生。

ARTE TOKYO (アルテ・トーキョー)

2026年秋、新たな国際文化芸術祭「ARTE TOKYO」が開幕します。日比谷・丸の内、臨海、代々木・渋谷の3つのコアエリアを中心に、アート、演劇、音楽、イルミネーション、エンターテインメントなど多彩なプログラムを展開。東京全体を会場にした文化芸術祭で、誰も見たことのない東京が、はじまります。まちを歩きながら文化芸術と出会い、東京の新たな魅力を発見する特別な体験をお楽しみください。

【開催日】2026年10月10日(土)～12月31日(木)

【開催エリア】東京全域

【コアエリア】臨海、日比谷・丸の内、代々木・渋谷エリア

【主催】東京都、東京国際文化芸術祭実行委員会



大丸有の知られざる魅力を発見できる施設見学ツアー

OPEN CITY MARUNOUCHI 2026

普段は立ち入ることのできない施設や空間を巡り、大手町・丸の内・有楽町の魅力に触れる「OPEN CITY MARUNOUCHI」。今年は過去最大となる 30 のガイドプログラムと、エリア内約20か所を巡るデジタルスタンプラリーを実施します。スタンプラリーには、三菱商事本社ビルの「231 PLACE」や、日本経済新聞社東京本社2階の「NIKKEI MUSEUM」など、これまでOn!でもご紹介してきた施設も参加。エリアの企業・団体が一体となって、このまちならではの個性と魅力をお届けします。



【開催日】2026年10月23日(金)～11月8日(日)

【開催場所】大手町・丸の内・有楽町エリア周辺施設等 【主催】OPEN CITY MARUNOUCHI 2026 実行委員会



和傘の灯りでまちを彩るイルミネーションイベント

和ルミネーション 2026

「まちに灯りを」をコンセプトに、2018年に丸の内朝大学での学びをきっかけに生まれた和ルミネーションは、まちを和の灯りで彩るイベントです。日本の伝統工芸である和傘が織りなす幻想的な風景が、いつものまちに新たな表情を映し出し、日常の中に少しだけ特別な時間を添えます。今年は竹細工とのコラボレーションも取り入れ、さらに魅力ある空間をお届けする予定です。あたたかな灯りに包まれた大手町の風景をお楽しみください！

【開催日】2026年11月4日(水)・5日(木) 【点灯時間】17:00～21:00(予定)

【場所】大手町仲通り ※雨天の場合は大手町フィナンシャルシティアトリウム

【主催】和ルミネーション実行委員会



千代田区大手町1-7-2 東京サンケイビルB2F TEL 03-3231-3450
営業時間 平日11:00～15:00(L.O. 14:30) / 17:00～22:00(L.O. 21:00) 定休日 土日祝
席数 80席

五香路 大手町店



店内にはテラスを臨むカウンター席も。

東京サンケイビル地下2階にある「五香路 大手町店」は、大丸有ワーカーたちに支持される人気店。天井が高く、テラスに面した店内は、開放感がありながらも落ち着いた雰囲気です。看板メニューは、「酸辣湯麺」。香り高い自家製ラー油を使ったコクのあるスープは、とろみをつけていないため、すするとさっぱり食べられます。全粒粉を使用した細麺が、スープとほどよく絡み、軽やかな口当たりのなかにしっかりと満足感を感じられるのも魅力。風味豊かな「黒酢酸辣湯麺」や、チーズとバジルの組み合わせが新鮮な「トマト酸辣湯麺」など、ひと味違ったメニューがそろったこの店ならではの、昼ときには常に行列ができる人気店ですが、提供がスピーディで回転も早く、忙しいワーカーにうれしい1軒です。



すっきりとした中にコクのある辛さがクセになる。酸辣湯麺 ¥1,150(税込)

U35の声

酸味のきいたおいしさ
が、夏の疲れを吹き飛ば
してくれます！

ほどよい酸味と辛味があと
引く一杯です。ぜひご賞味
ください！



店長
矢島真一さん



Ta-im タイム



スパイスが効いたスープ付きで、ヘルシーながら食べ応え抜群。ファラフェルプレート 1,550円(税込)

白とブルーを基調にした店内には、
現地の写真も。



U35の声

フムス、ピタパン、ファラフェルをひと皿で味わえる、
気分まで上がる逸品です！

お店で毎日手作りしているファラフェルは、ひと味違うおいしさ。
ぜひ一度味わってみてください。



マネージャー
飯島哲平さん

丸の内二重橋スクエア地下1階にあるイスラエル料理店。店名の「Ta-im」はヘブライ語で「おいしい」を意味し、フレッシュな食材とスパイスをたっぷり使った現地の家庭料理が楽しめます。ランチタイムに人気なのは、ファラフェルとフムス、ポテト、サラダに1/4サイズのピタパンが2枚付いた「ファラフェルプレート」。ファラフェルとフムスには、良質なタヒニソース(白ごまソース)を使い、店内で一から手作りしているそうです。野菜をじっくり煮込んだ特製スープは、クミンが効いたやさしい味わいで、体の内側からじんわり温まります。具材をピタパンにはさんで楽しむのもおすすめ。しっかり食べ応えがありながら、動物性食材を使っていない、ヘルシーなひと皿です。

大丸有で おいしい時間

若手ワーカーがおすすめる、
暑さを乗り切るスパイス料理

大手町、丸の内、有楽町でしか味わえない、
とっておきグルメをご紹介します。今回は、大丸有エリアで働く
若手ワーカーのアンケートをもとに、まだ暑さの残る
季節にぴったりのスパイス料理をお届けします。

大丸有エリアと神田エリアをつなぐ新たな都市の結節点

仲通り散歩橋と鎌倉河岸船着場が開通・整備



2026年7月31日、大手町と神田を結ぶ歩行者専用橋「仲通り散歩橋」が開通しました。あわせて、日本橋川沿いには防災船着場「鎌倉河岸船着場」が整備され、大丸有エリアと神田エリアをつなぐ新たな交流・回遊の拠点が誕生しました。

これらの整備は、「大手町ゲートビルディング」の竣工と同時期に実施されたものです。同ビルディングの2階から4階に農と食のビジネス・産業支援施設「MINORIWA(ミノリワ)」が開業したほか、東側エントランス前には新たに丸の内シャトルの停留所も設置され、人々の交流や両エリアのさらなる回遊性の向上を促すことが期待されています。

また、「鎌倉河岸」は、江戸時代より水運の拠点として発展してきた歴史ある場所です。新たに整備された「鎌倉河岸船着場」は、防災機能を担うだけでなく、水辺空間の活用や舟運ネットワークの拡充にも寄与する拠点として注目されています。大丸有と神田を結ぶ新たな動線の誕生により、両エリアのつながりはさらに深まり、まちの回遊性と魅力の一層の向上が期待されています。

詳細はこちら



大丸有 VOICE 大丸有まちの声プロジェクト

みなさんの気づきや発見が、大丸有をさらに心地よい場所にするヒントになります。ぜひ、感じたことやアイデアを自由にお寄せください。



千代田区防災ポータルサイトアプリ

発災時の避難情報や被害状況から平時の公共交通機関の運行状況・気象情報まで、千代田区の防災情報等を簡単に確認することができます。ぜひダウンロードしてみてください!



ADVERTISEMENT



詳しくはこちら



当協議会では、On!58号(掲出予定期間:2027年3月~2027年8月)に掲載する広告を募集いたします。

お問合せ:contact@tokyo-omy-council.jp

about On!

『On!』のタイトルは「Old but New」の頭文字に由来するものです。新旧の魅力がともにあり、常に前進し続ける大丸有エリアのまちづくり情報やおすすめスポットをご紹介します。



On!

一般社団法人大手町・丸の内・有楽町地区まちづくり協議会
〒100-8133 東京都千代田区大手町1-1-1
TEL03-3287-6181 FAX03-3211-4367
<https://www.tokyo-omy-council.jp/>

On!バックナンバー、
大丸有まちづくり協議会のInstagram、
読者アンケートはこちらから

